

2019年4月吉日

各 位

国立大学法人 山 梨 大 学
学 長 島 田 眞 路
全学同窓会長 天 野 一

山梨大学 寄附金サイト開設のご案内

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より山梨大学の教育研究活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本学では平成 17 年 6 月に「山梨大学教育研究支援基金」、平成 27 年 12 月に「山梨大学大村智記念基金」を創設し、卒業生・修了生をはじめとする個人や企業の皆様から広くご理解とご協力をいただいております。

このたび、両基金のインターネットによる寄附金受付のためのサイトを開設いたしました。皆様には引き続き基金の趣旨にご賛同いただき、ご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

【寄附金サイト】

「山梨大学教育研究支援基金」 [URL:https://kifu.yamanashi.ac.jp/kyoken](https://kifu.yamanashi.ac.jp/kyoken)

「山梨大学大村智記念基金」 [URL:https://kifu.yamanashi.ac.jp/omura](https://kifu.yamanashi.ac.jp/omura)

※振込用紙による寄附も受付けておりますので、パンフレットの郵送を希望される場合は、下記までお問い合わせ願います。

【お問い合わせ先】

山梨大学基金事務局 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4 丁目 4-37

電話：055-220-8358 FAX：055-220-8774 E-mail：kikin@yamanashi.ac.jp

「山梨大学教育研究支援基金」募金趣意書

本学は、「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズに掲げ、地域の産業・文化・教育・医療の中核を担う基幹大学として、「知の拠点」の役割を果たし、地域の発展に貢献するとともに、強みのある分野で世界的な水準の研究を推進しております。これら高度な研究に基づく人材育成により、これまでに様々な領域で活躍する優れた人材を輩出してまいりました。今後も、医工農融合研究をはじめ異分野の柔軟な融合に全学で組織的に取り組み、新たな時代を切り拓く知の創造を図り、それらの成果に基づく高度な研究により、地域の人材育成と活性化を担う拠点としてさらなる役割を果たしてまいりたいと考えております。その達成に向けて、全学一体となった組織マネジメント体制を強化するとともに、自主的な改革の在り方について継続的に検証・評価を行い、地域社会及び国際社会

のニーズに常に柔軟に対応しつつ、絶えざる改革と機能強化を推進する所存であります。

一方、我が国の厳しい財政状況により、国立大学に対する基盤的な経費である運営費交付金は法人化（平成 16 年）以降減額されていることから、寄附金等の外部資金を含む多様な財源の確保に努めていく必要があります。このような状況を踏まえ、本学では、平成 17 年 6 月に「山梨大学教育研究支援基金」を創設し、卒業生・修了生をはじめとする個人や企業の皆様から広くご理解とご協力を賜り、教育研究活動の充実、修学環境整備事業、国際貢献事業及び地域社会貢献事業等への支援を行っております。

本学では、今後も学内外の皆様から広くご意見を求め、より一層の教育研究の質の向上に努めてまいりますので、皆様には引き続き本基金の趣旨にご賛同をいただき、ご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

「山梨大学大村智記念基金」募金趣意書

本学は、「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズに、「知の拠点」である地域の基幹大学として地域の活性化に貢献するとともに、特色を活かした高度な教育研究の展開により、これまでに様々な領域で活躍する優れた人材を輩出してまいりました。

そのお一人である大村智先生（昭和 33 年山梨大学学芸学部自然科学科卒業）におかれては、その比類なき研究のご功績から、これまでも幾多の賞を受賞しておられますが、このたび、熱帯感染症に大きな治療効果がある特効薬「イベルメクチン」などの開発による人類への多大な貢献が評価され、2015 年ノーベル医学・生理学賞を受賞されました。

このご受賞は、昨今の厳しい状況下に置かれている地方大学にとってこの上ない朗報であり、また本学といたしましても大いに誇りとするところでありますので、改めて大村先生に敬意を表し、『特別栄誉博士』の称号を贈呈させていただいたところです。

さて、本学は、かねてより大村先生には、名誉顧問としてのお立場から、大学運営に関するご指導ご助言を賜り、かつ、教育研究活動への多大なるご支援をいただいておりますが、このたびのご受賞を機に、先生に続く次世代の若手研究者等の育成を推進するとともに、末永く先生のご功績を顕彰するため、『山梨大学大村智記念基金』を創設いたしました。

本基金は、先生が並々ならぬ情熱を注いでおられます人材育成に資するため、本学の学生の奨学金として使用させていただくほか、先生ゆかりの貴重な品々の展示を行うとともに、本学の学生・教職員・同窓生はもとより、地域の皆様方も集える場として、先生のご芳名を冠した『大村智記念学術館』を建設するなどの事業への活用を考えております。

つきましては、本事業には何分にも多大な資金を必要といたしますことから、本趣意をご理解いただき、卒業生をはじめ、広く地域、財界その他諸方面の皆様方には、ぜひともお力添えを賜りたく、伏してお願い申し上げます。

本学では、不断の改革を進めるため、今後も学内外から広くご意見を求め、より一層の教育研究の質の向上に努めてまいりますこととお誓い申し上げ、お願いのご挨拶とさせていただきます。